

収蔵品デジタルアーカイブ検索ページと収蔵品管理システム機能要件

種別	分類	機能要件
システム 全般	システム 全般	標準的な Web ブラウザ（Microsoft Edge、Chrome）で利用できるシステムとすること。各ブラウザの最新バージョンに随時対応していくこと。
		- データの登録件数、画像登録数、総容量に制限がないこと。また、総容量が増えても料金は変動しないこと。 - システムの運用、メンテナンスは受託者が実施すること。データのバックアップ、サーバ OS やアプリケーションのセキュリティパッチ適用／アップデート、サーバ状況の監視、不具合時の対応、ハードウェアの増設等安定的な運用に必要な業務を行うこと。これらに係る費用が別途必要な場合、運用費に含めること。
システム 管理	ユーザ 管理	職員ごとにアクセス権限を設定、変更できること。アクセス権限は、閲覧のみ、制限なしが資料のカテゴリごとに設定できるものとする。利用者は ID・パスワードでログインできること。
	分類項目 設定	- 職員が資料カテゴリを追加、変更、削除できること。 - 入力項目は利用者側で自由に追加、変更、削除できること。 - 入力項目のサイズは、利用者側で変更できること。
	データ 一括処理	複数の資料を一度に登録、更新できるデータ一括処理機能を備えること。Microsoft Excel 形式、CSV 形式、TSV 形式に対応すること。Excel の最新バージョンには随時対応すること。
	データ 一括出力	データ出力機能では、全ての項目又は任意の項目の選択により検索結果を考慮した出力が行えること。検索条件がない場合は、基本登録されている全件数を対象とした出力とすること。出力する項目は 30 項目以上指定・選択できること。出力形式は Microsoft Excel 形式、CSV 形式、TSV 形式が選択できること。
資料管理 システム	検索機能	- 検索機能は、任意のキーワードに対して全ての資料項目を横断して検索できる「キーワード検索」と任意の資料項目に対して検索できる「項目指定検索」をそなえること。 - 項目検索は、検索文字列に対して「含む」「含まない」「完全一致」「前方一致」「後方一致」「以上」「以下」から選択できること。
	登録機能	- データの新規登録画面から、新たなデータを登録できること。 - データの詳細画面に表示されたデータを上書きし、データを更新できること。 - データの詳細画面から、当該データを削除できること。

		・ データの一覧画面から任意のデータを選択し、データを一括して削除できること。 ・ 文字情報の登録においては、手入力だけではなく、選択肢で入力できること。選択肢を変更、追加、削除することができること。 ・ 多数の項目をデータのセットとして辞書的に登録し、そのセットをまとめて登録できること。
	出力機能	・ データ出力機能では、全ての項目又は任意の項目の選択により、検索結果リストの出力が行えること。 ・ 出力形式として、タブ区切りまたはカンマ区切りによるテキスト形式と、Microsoft Excel 形式が選択できること。 ・ 検索結果一覧から、画像をダウンロードしたいデータを選び、画像データを一括してダウンロードできること。 ・ 資料・作品カードやラベル、対外文書など、利用館独自の書式をシステム上で自由に作成でき、作成した書式をシステムに登録、その書式を指定して利用館独自の帳票を出力できること。
	資料管理	・ データベースは、カテゴリ毎にそれぞれ別個の分類に分けて運用できること。 ・ 資料に付随する、画像ファイル及び画像情報、貸出履歴、修復履歴、来歴、移動歴、参考文献が複数登録できること。 ・ 資料画像は複数登録ができること。登録した画像ごとにインターネット公開可否が設定できること。
	貸出・展示管理	・ 資料の利用（展示・貸出など）、閉架・開架、現在の状態（予約中／貸出中／返却済）を管理できること。
資料公開	資料データベース公開	・ 一般公開可能な資料情報については、インターネット上での公開を行えること。 ・ インターネット公開画面は、検索トップ＞検索結果一覧＞検索結果詳細の3段階の画面を基本とすること。 ・ 検索トップだけでなく、検索結果一覧、検索結果詳細のいずれにも固有の URL が割り振られること。 ・ インターネット公開画面の検索トップで使う検索項目、検索結果一覧で表示する項目、検索結果の詳細で表示する項目を、編集画面で自由に設定できること。